

白井市自然環境調査員養成講座

第2回 植生の見方（植生調査法） 実習

（日本生態系保護協会 主任研究員 金子是之）のお知らせ

平成16年10月16日（土曜日）

13時30分から16時30分

集合場所（谷田、福祉センター正面入り口） 駐車は、福祉センターの駐車場を利用できます。

実習実施場所 白井市谷田の草原、樹林、湿地環境

個人で用意して欲しいもの

長靴・筆記用具・古新聞紙・軍手・帽子・剪定ハサミ、雨具（汚れても良い服装）

協会・大学で用意するもの

テキスト、記録用紙、画板、大型ビニル袋、地図

雨天の場合は、桜台センターにて、植生についての講義（90分）を行うが、谷田の福祉センターに一旦集合してから移動する。

白井市野外実習内容

◎植物相(フロラ)調査実習(H16.10.16)

1) 植物相調査

白井市谷田地区の樹林地、草地、湿地を対象に植生調査範囲の全出現種を同定し記録する。調査方法は、調査地内を踏査しながら、確認種を記録する。しかし、現地での同定が難しい種については、植物を採取し、標本にした後に同定する。また、芽生えや、花実がないなどで同定できない場合、より適切な季節に再度調査する。

2) 希少植物

希少植物は、普通種に比べて数に限りがあるため、極力採取はせず、写真を撮るか、その場でハンドブック図鑑を用いて同定する。また、ハンディなGPSを用いて緯度・経度を記録する。

※ 希少植物は、千葉県レッドデータブック、環境省レッドデータブックに掲載されている種を対象とする。

【 参考図鑑 】

- 山溪ポケット図鑑1～3、山と溪谷社
 - ①春の花、②夏の花、③秋の花
- 野草の見分けポイント図鑑
監修：畔上能力、菱山忠三郎、西田尚道 総監修：林弥栄 講談社
- 山溪名前図鑑「野草の名前」、写真、解説／高橋勝雄、山と溪谷社
 - ① 春、② 夏、③ 秋冬
- 「葉でわかる樹木 625 種の検索」 馬場多久男著 信濃毎日新聞社
- 「しだの図鑑」 光田重幸著 保育者
- フィールド版「日本の野生植物」草本 佐竹義輔、大井次三郎、北村四郎ら、平凡社
- フィールド版「日本の野生植物」木本 佐竹義輔、大井次三郎、北村四郎ら、平凡社